



金崎 芙美子  
(自民党)

**待機児童問題解消  
と保育士の処遇改  
善、保育士確保を**

**問** 合計特殊出生率の低下が大きな社会問題となっており、両親が安心して働けるための保育施設を確保することが重要な課題である。

①待機児童の状況とその解消に向けた取組は。  
②保育の質の向上を図るための民間保育所の保育士の処遇改善と、不足している保育士の確保を今後どのように進めていくのか。

**答** ①子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、待機児童の定義が見直されたことなどにより、27年4月時点で136名の待機児童が発生している。29年度末までの解消を目標

とし、事業者に対する個別訪問や説明会などを通じて子ども・子育て支援新制度のメリットを分かりやすく提示し、理解の促進を図りながら、幼稚園の認定こども園への移行など、供給体制の確保に積極的に取り組んでいく。

②勤続3年目から25年目以降も、月2万4千円を上限とする市独自の給与に対する加算制度を設けており、引き続き制度を実施しながら、国に対して適切な対応とさらなる処遇改善について働きかけていく。また、保育業務に従事していない潜在保育士を対象とした研修などに加え、新たに就職ガイダンスの実施などを行うっていく。

**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢（感染症対策、がん検診受診率向上、LRT、自治会活動促進のための財政的支援）
- ②発達障がい
- ③放課後児童健全育成事業
- ④スクールソーシャルワーカー



塚原 毅繁  
(自民党)

**二荒山神社を生かしたまちづくりを**

**問** 市の中心市街地は、二荒の森を中心として古くから繁栄しており、新たに整備されたパンバひるばでも賑わいが創出されているが、波及効果に向けて、歴史を存分に生かし、二荒山神社と城址公園を結ぶ歴史軸の更なる魅力づくりや有効活用が必要と考える。今後の取り組みは。

な取り組みを進めてきた。今後は、中心市街地活性化協議会などと連携し、コインパーキングや空き地などの利活用に向けた方策を検討するとともに、引き続き二荒山神社周辺における市街地再開発事業をはじめ、パンバひるばや城址公園での様々なイベントの開催、地元商店街の発意による歴史軸における商店街の魅力向上に向けた支援など、各種活性化事業に官民一体となつて総合的・一体的に取り組む、歴史軸の魅力づくりと効果的な活用を図っていく。

**答** 市ではこれまで、パンバひるばの整備による風格ある都市空間の形成、沿道の電柱地中化などによる来街者の歩行環境の整備、歴史案内板の設置による歴史環境の演出など歴史と文化を感じることのできる魅力ある空間の創出に向けて様々

**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢（北関東中核都市連携会議の今後の取り組み、公共工事の円滑な施工確保と早期発注ほか）
- ②いちよう通りの右折専用レーン設置
- ③宇都宮東部土地区画整理事業
- ④放射性物質を含む浄水発生土等の管理
- ⑤中高一貫教育と小中一貫教育の考え方



中塚 英範  
(市民連合)

**LRT導入事業  
市民アンケート等  
実施の考えは**

**問** LRT導入事業について聞く。

①東側の整備では、従業員アンケート調査結果などから赤字が見込めるとしているが、赤字になった場合、運営主体の経営責任であり、市は補てん等を行わなくてもいいという契約になるのか。  
②住民投票の提案もしくはは市民アンケートの実施の考えがあるかないか。もし、実施の考えがない場合、その理由は。

**答** ①契約内容については、現在行っているLRT事業の運営を担う意向のある事業者の募集において、営業主体と行政との役割分担に関する提案を

**その他の質問項目**

- ①介護保険要支援の介護予防サービスの自治体事業への移行
- ②小規模保育事業と「3歳の壁」
- ③空き家対策
- ④選挙投票率向上

求めており、その内容を踏まえながら、固めていく。  
②LRTは、国や県などとの協議を経て、適宜、丁寧に市民への説明などに取り組んできたところであり、この間、市民の関心や質問は、事業に対する疑問・不安から、運行頻度や開業時期など、事業に対する期待へと変化するなど、事業の推進について多くの市民に理解を得ているものと考えている。

さらに、LRTは、二代表制のもと、長年、議論を重ね進めてきたところであり、今後、議会と執行部との間で十分に議論を進めていくのが適切と考えており、市長提案による住民投票や市民アンケートの実施は考えていない。

**その他の質問項目**

- ①介護保険要支援の介護予防サービスの自治体事業への移行
- ②小規模保育事業と「3歳の壁」
- ③空き家対策
- ④選挙投票率向上